

# 沙流川平取地区水害タイムライン 第3回検討会 実施概要

平成28年5月31日(火)に平取町で「沙流川平取地区水害タイムライン第3回検討会」を開催しました。

「タイムライン」は「事前防災行動計画」とも呼ばれ、本検討会では、沙流川平取地区で水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携し、状況に合わせて防災行動をとるための検討を行っています。

第3回検討会は、年度を挟んだために異動等で初めて参加される方も多く、はじめに昨年度までの振り返りや災害シナリオの再確認を行いました。その後、昨年度までの検討結果をまとめた「タイムライン素案」を精査、充実するためのグループワークを行い、最後に各グループで挙げられた意見や課題を共有しました。



【実施日時】 平成28年5月31日(木) 13:30~17:00

【実施場所】 平取町中央公民館 大ホール

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 17機関 62名

※副座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

## 開会挨拶

事務局・開催地を代表して、平取町の川上町長から開会挨拶がありました。近年は国内各地で大規模な水害が発生しており、沙流川でもその懸念があるため、本タイムライン検討会を通じた関係機関との協議により、関係機関連携のもとで水害の被害を未然に防ぐための大きな一助となることを期待していると述べられました。



## 過年度の振り返り

本検討会に初めて参加される方が多かったため、事務局からあらためて昨年度までの検討会の経緯や検討内容の報告を行いました。特に、前回の検討会における「意思決定グループ」の検討結果として、防災体制の切替タイミングや住民の避難に関する情報の発表時期などが明確化されたため、重点的に説明し参加者で共有しました。



## ワークショップ

藤間副座長の進行でワークショップを行いました。はじめに事務局からタイムライン素案の見方、ワークショップの具体的な作業方法を説明し、昨年度同様の5つのグループに分かれて、討議が開始されました。

グループ討議は、各テーブルのファシリテータの進行補助のもと、以下の議題について検討を行いました。

- ① タイムライン素案の「行動項目・細目」の文言、実施タイミングの精査
- ② 各防災行動にかかる所要時間の検討と書き込み
- ③ 各防災行動の「指示・伝達機関」「実施主体機関」「支援機関」のマーキング



## 全体講評

### ■黒木アドバイザー

外水氾濫発生後の防災行動や内水氾濫発生時の情報伝達や防災行動のトリガー、限られた人員での行動の優先順位、情報の流れ、マスメディアの対応について、さらなる検討の必要性が伝えられました。また、議論が白熱してなかなか精査が進んでいないところもあったが、せっかく関係機関同士で話ができる貴重な場なので、情報共有や意見交換はそのまま大切にしていってほしいとの助言を頂きました。

### ■志田アドバイザー

沙流川の防災では気象情報・河川情報がとても重要だが、予測精度等には限界もあるため、関係機関はそれをインターネット等で得るだけではなく、不明な点は直接情報交換をしながら対応することが重要で、タイムラインはその漏れないようにするためのものであることが伝えられました。これからの検討でも、不明な点は随時情報交換をしながら進めていってほしいとの助言を頂きました。

